

令和 7 年 度
厚 沢 部 町 農 業 集 落 排 水 事 業
会 計 決 算 審 査 意 見 書

厚 沢 部 町 監 査 委 員

令和7年度厚沢部町農業集落排水事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された厚沢部町農業集落排水事業会計決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、欠損金処理計算書、貸借対照表、収益費用明細書、固定資産明細書、事業報告書及び各関係帳簿、証明書類について審査を終了したので、次のとおり意見を付する。

令和8年8月28日

厚沢部町代表監査委員 岩 田 健 二

厚 沢 部 町 監 査 委 員 松 村 松 雄

第1 審査の概要

1 審査年月日

令和8年7月31日（金）

2 審査に従事した監査委員及び書記

代表監査委員	岩 田 健 二
監 査 委 員	松 村 松 雄
書 記	藤 田 智 美
書 記	首 藤 浩 平

3 審査のため説明を求めた者の職氏名

副 町 長	合 浦 博 昭
総務財政課長	安 田 光
会 計 管 理 者	佐 藤 武 徳
建設水道課長	森 理 生
上下水道係長	久保田 和 敏
上下水道係主査	福 島 耕
上 下 水 道 係	山 田 拓 也
財 政 係 長	小 森 賢 人

4 審査の手続き

決算審査にあたって、農業集落排水事業の財政状況及び経営内容が適正に表示されているかを検証するため、会計帳簿、証拠書類と照合のほか必要と認めるその他の審査を実施した。さらに、本事業の経営内容分析を行い、経済性の発揮及び公共性の確保を主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

決算については、決算諸表と関係諸帳簿及び証票を照合した結果、いずれも符合しており、経営状況を適正に表示しているものと認めた。

2 経営の状況について

令和7年度の収支状況は、収益的収支の収入が235,237,399円（税抜）で、支出は234,311,758円（税抜）となり、この結果、損益計算書での当年度純利益は925,641円となり、この利益については資本金に組み入れることとしている。

資本的収支は、収入38,999,048円（税込）、支出70,589,866円（税込）で不足額が31,590,818円であり、当年度分損益勘定留保資金で補填した。

表1 収益的収入及び支出決算額

（単位：円）

区 分		7年度決算額 a	6年度決算額 b	増減 a-b
収入	農業集落排水事業収益	235,237,399	237,264,730	△2,027,331
支出	農業集落排水事業費用	234,311,758	235,743,568	△1,431,810
収入支出差引額		925,641	1,521,162	△595,521

※消費税及び地方消費税抜き

表2 資本的収入及び支出決算額

（単位：円）

区 分		7年度決算額 a	6年度決算額 b	増減 a-b
収入	資本的収入	38,999,048	36,573,857	2,425,191
支出	資本的支出	70,589,866	68,400,409	2,189,457
収入支出差引額		△31,590,818	△31,826,552	235,734

表3 業務量

事 項		単位	令和7年度	令和6年度	比較	
					増減	比率
供	用 人 口	人	2,360	2,409	△ 49	△ 2.0
供	用 戸 数	戸	902	918	△ 16	△ 1.7
供	用 率	%	89.6	89.6	0.0	0.0
有 収 処 理 水	年 間	m ³	152,503	156,861	△ 4,358	△ 2.8
	1 日 平 均	m ³	417.8	429.8	△ 12.0	△ 2.8
	1 戸 平 均	m ³	169.1	170.9	△ 1.8	△ 1.1

(3) 審査意見の総括

今後、老朽施設の更新が必要となる中、人口減少等により財源となる下水道使用料等の減少が見込まれる。令和7年度には農業集落排水事業経営戦略の改定を行ったところであり、その内容をしっかりと踏まえ、更新の優先順位や適切な施設規模を考慮しつつ、現在の経営状況を維持しながら計画的な施設更新を行っていただきたい。今後も厳しい経営状況が見込まれることから、長期的に安定した経営を目指し、事業経営の改善や合理化など、さらなる経営健全化に努められたい。